



重い障害のある人が、「親亡き後」も
地域で暮らし続けるために...

伊賀地域生活支援拠点

伊賀市に誕生した、地域生活支援拠点 オルハナ

2023年8月、名張育成会初となる「地域生活支援拠点(※1)」の事業所として、大山田保健センターの隣に開所しました。伊賀市の事業所としては、「れいあるは(※2)」「ココロノイロ(※3)」に次いで3つ目となります。(※1,2,3は裏面を参照ください。)

伊賀市の障害者グループホームは、特に重い障害を持つ方の受入れ施設や、一時的な受入れをする短期入所施設が不足しており、身近な「暮らしの場」の整備が大きな課題となっていました。そのような折、伊賀圏域で長年取り組んできた当法人に期待の声

が寄せられ、コロナ禍などによる計画修正を経て、ようやく開設することができました。また一緒に就いたばかりですが、障害者の重度化や高齢化、また親亡き後を見据えた地域生活支援拠点(※1)として、住み慣れたこの伊賀の地で安心して暮らし続けられるよう寄り添ってまいります。



事業所名は「オルハナ」

「オルハナ」とは、ハワイ語「Ohana(オハナ)」と「Luana(ルアナ)」の合成語。それぞれに「Ohana = 精神的に支え合う家族・仲間」「Luana = みんなで一緒に楽しみリラックスする」という意味があり、私たちの施設にかけける思いとして命名しました。

施設の特徴

重い障害のある人が、「親亡き後」も地域で暮らし続けるために何が必要か様々な検討を重ね、65年にわたる名張育成会のノウハウを、設計段階から注ぎ込みました。



サービスの特徴

● 地域との共生

地域の祭りなど諸行事には、地域の一人として、また担い手として参加し、関係を築いていきます。

● 体験を利用した無理のない移行

暮らしの変化に対して無理がないよう、体験利用を行いながら暮らしをサポートします。



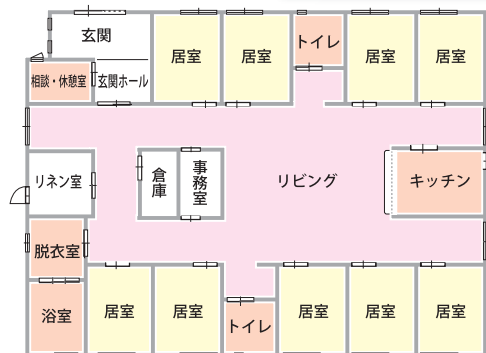
● こだわりのある、ゆったりとした居室

ゆとりある広さ(12.15㎡~12.35㎡)で、部屋ごとに異なる差し色(アクセントカラー)を壁の一面に用いています。



● リビングルーム・オープンキッチン

パズルのように組み合わせて使う「ヘキサゴンテーブル」をオープンキッチンに面したリビングで活用し、ゆとりに活かします。また、トイレはリビングの両サイドにあり、縦・横どのゾーンからでもすぐ向かえるように配慮しました。



(裏面に続く)

名張育成会の活動、ひとつずつ！

各施設の様子をお伝えする「MiRAiレポートブログ」から
選り抜きの話題をご紹介します。

はてなブログ MiRAiレポート 検索

施設入所支援〈成峯〉

夏の風物詩～中庭ミスト～



夏の猛暑は避けたいですが、たまには太陽の光も浴びたいものですね。そこで、**成峯の中庭に設置したミスト**についてご紹介します。

冷たいミストの水滴が気持ちいい、そんな涼やかなミストを見上げる皆さん。とっても晴れ晴れとした表情ですね(^^)／

成峯では、夏季の暑さ対策として、**朝の30分に限り中庭を開放**していますが、そんなひと時に**大活躍するのがこのミスト**です。気持ちのいい日光浴ができますように!!(*'▽')

みはた虹の丘子ども園

「なないろ」が「わくわく組」と遊んだよ♪



とある夏の日、なないろ※のお友達が、子ども園わくわく組(5歳児)の子ども達による招きで一緒に遊ぶ交流会をしました。

「ワクワクしてくれるかな?」「どんな歌がいいかな?」「あかちゃんも来るんやって!」と、子ども達みんなで話し合っホールを飾り、選んだ歌や合奏曲を披露しました。「あっ!この曲、知ってる!」なないろのお友だちは大喜び。また、星の形に切ってお絵描きした素敵なプレゼントも渡しました。そして

いっぱい遊んだ後は、「わくわくトンネル」をくぐって、ここでバイバイ!「楽しかったよ。と一緒に遊ぼうね。ありがとう!」つかの間のひと時でしたが、子ども同士のやりとりを微笑ましく感じた交流会でした。

※「なないろ」とは、みはた虹の丘子ども園で実施している、未就園児と妊婦さんを対象とした子育て応援制度「マイ保育ステーション」の名称です。

伊賀圏域障がい者就業・生活支援センター ジョブサポートハオ

コミュニケーションスキルアップ 研修を開催しました!



今回は、コミュニケーションスキルアップ研修で行った、「**新聞紙を使ったタワーづくり**」についてご紹介します。2人一组で新聞紙を使い、より高いタワーを作る手法を話し合い、その後実際に作ってもらいます。

立派な「三角すい」を作ったグループ。そこはかたなく「アート感」を醸し出すグループ。中には計画通りに行かなかったグループも…作品は様々ですが、このグループワークに正解はなく、話し合い、実行する事を目的としています。どのグループもたくさん話し合っより良い物を作ろうと工夫しており、コミュニケーション力を高めるという目的は十分に達成したと感じました。皆さん、ありがとうございます。

今月紹介した記事はすべて、「MiRAiレポートブログ」に詳しく掲載しています。ぜひご覧ください。



▲ブログはコチラ

(表面より) (※1)「伊賀地域生活支援拠点」について

障害者の重度化・高齢化や親亡き後に備えるとともに、地域移行を進めるため重度障害にも対応できる専門性を有し、地域生活において、障害者等やその家族の緊急事態に対応をすることを目的としています。

拠点の機能として、障害者が地域で安心して暮らしていけるよう、緊急一時的な短期入所の活用や地域での一人暮らしに向けた、体験的宿泊の居室を確保したり、地域生活を支援するサービス提供体制の調整を図ります。



オルハナを囲むように、のどかな里山風景が広がっています。



具体的な取り組みについては、
随時ホームページで発表してま
いますのでご確認ください。
<https://www.n-ikuseien.jp/>

伊賀地域生活拠点 オルハナ 〒518-1422三重県伊賀市平田641-1
TEL:0595-46-0027 FAX:0595-46-0028 Mail:oruhana@n-ikuseien.jp
(※2)いが児童発達支援センター「れいあろは」 (※3)放課後等デイサービス「ココロノイロ」

取材:広報委員会